

# Ⅲ 各教科等の指導重点事項

子ども一人ひとりが「わかった」「できた」を実感でき、「もっと学びたい」という思いを広げるためには、課題解決に向けた学びの見通しを持たせ、他者との関わりを通して主体的に学び続けようとする意欲を高める授業づくりが大切です。

そのためには、学びの過程や学習状況を丁寧に見取り、学習の進め方や表現方法を選択する場を設定したり、学びの成果を実感できる振り返りの場面を設定するなど、学びを支える教師の働きかけを工夫することが重要です。

ここでは、各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を整理するとともに、「もっと学びたい」を広げるための指導のあり方に焦点をあて、各教科等の特質に応じた授業づくりの一例を取り上げました。

○○科

**重点事項**

1 . . . . .

. . . . .

2 . . . . .

. . . . .

**子どもの「もっと学びたい」を広げるために**

「单元名、題材名、活動名 等」(対象学年)  
本時のねらい

**【教師】** . . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

学習課題：

**【教師】** . . . . .

. . . . .

. . . . .

. . . . .

各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を示しています。

「もっと学びたい」を広げるために、重視したい指導のポイントを示しています。

指導のポイントに関わる教師の働きかけを下線と文字囲みで示しています。

学びを広げる子どもの姿を示しています。

# 国語科

## 重点事項

### 1 確かな言語能力を育成する指導の工夫

- 言葉の働きに関する自分の知識や理解、認識などの変容を自覚できるような学びが、螺旋的に積み重ねられていく単元や授業を構想する。
- 小学校では日常生活において、中学校では社会生活において生かすことのできる言語能力をはぐくむために、身に付けた力を活用した実践的・体験的な活動を取り入れる。

### 2 叙述に即して読み取り、効果的に表現する力を高める指導の工夫

- 論理構成を適切にとらえたり、描写の意図を考えたりするなど、文章の種類に応じた読み方を身に付けることができるよう、言葉や表現に着目して吟味する活動の充実を図る。
- 相手や目的を明確にして情報を収集、検討したり、文章を推敲したりするなどの学習の過程を重視し、読み取る活動と表現する活動を相互に関連させた学習活動の充実を図る。
- 伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう、一人ひとりの考えや表現を価値付け、全体で共有する場を設定する。

### 3 言語活動を支える基盤づくりの工夫

- 言葉に対する知識を身に付け、認識を深めることができるよう、獲得させたい言葉や表現等を授業や生活の中で取り上げるなど、教師の日々の働きかけを大切にする。
- 学校司書と連携し、学校図書館や図書コーナー等を計画的に活用するなど、多様な本にふれる機会の充実を図る。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 伝記に書かれた出来事や人物の言動、考え方、生き方に着目して読み、自分自身と結び付けて考えることができるような学習活動を設定することが大切です。

「やなせたかしーアンパンマンの勇氣」(小学校5年)

本時のねらい：伝記を読み、人物の生き方について、自分自身と結び付けて考えをまとめることができる。

【教師】 筆者は、伝記を通して、どのようなことを伝えたかったのでしょうか。

- 両親との別れや弟の死などの出来事から、やなせさんの悲しい気持ちやさびしい思いが伝わってきます。
- やなせさんの言葉や行動に、夢を叶えるまでの悩みや苦労、努力し続けたことが表れています。
- やなせさんのつらい経験と正義や命に対する思いが、アンパンマンの誕生につながったことが分かります。

【教師】 なぜ、伝記は多くの人に読まれているのでしょうか。

既習事項や自分の経験と関連付けて考える場面を設定する

- 言葉や行動から、その人物の生き方が伝わってきて心に残るからです。
- 人物について考えることで、今の自分と同じところや違うところを見付けることができるからです。
- いろいろな経験をすることと、ひとつのことを成しとげるまでの努力の大切さを学ぶことができます。
- 伝記には、筆者が伝えたい人物の魅力が書かれているので、他の伝記も読みたくなるからです。

【教師】 これから読みたい伝記を選び、その理由を書きましょう。

既習事項と関連付けた学習活動を設定をする

- 「伝記を読む際の視点」
- 人物の行動や言葉
  - 人物の生き方や考え方
  - 人物が育った環境、時代背景
  - 周囲の人物
  - 人物が成しとげたこと
  - 人物に対する筆者の考え

- 「伝記を選ぶ際の視点」
- 興味のある人物の伝記
  - 自分の夢につながる人物の伝記
  - 名言を残した人物の伝記
  - 他の筆者が書いたやなせたかしの伝記

# 社会科

## 重点事項

### 1 追究意欲を高める指導過程の工夫

- 社会的事象に対する気付きや疑問を引き出し、探究心を喚起することができるよう、学習課題の設定や資料の提示を行う。
- 自分の考えを見つめ直したり、新たな疑問を持ったりすることができるよう、学習課題に対するまとめや学びを振り返る場を重視する。

### 2 考えたことを表現する力を高める指導の充実

- 資料から必要な情報を適切に読み取ったり、調べて分かったことを目的に応じて整理したりする活動を通して、社会的事象の意味や働き、事象間の関連などを解釈し、自分の考えを持つことができるようにする。
- 地図や統計、年表などの資料や、調査活動を通して分かった事実をもとに、理由や根拠を明らかにして自分の考えを表現する場を設定する。
- 視点や目的を明確にした話し合い活動を取り入れたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、分かった事実や一人ひとりの考えを比較したり関連付けたりすることができるようにする。

### 3 社会への参画意識を高める指導の工夫

- 社会の一員としての意識を高めることができるよう、様々な立場や意見を踏まえ、よりよい社会のあり方を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする場を、各分野、単元の中に意図的に設定する。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 社会的事象をより多面的・多角的にとらえることができるよう、既習事項や複数の資料を関連付けて考察したり、収集した情報を整理・分析しながら話し合ったことをもとに、社会への関わり方等について自分の考えを再構築したりする場を設定することが重要です。

「情報を生かすわたしたち」(小学校5年)

本時のねらい：情報活用のあり方について、複数の資料を関連付けて考察し、適切な活用の仕方について考え表現することができる。

【教師】情報活用のあり方について、資料をもとに話し合います。

複数の資料を関連付け、多面的に考えさせる

(1) 情報化した社会について、資料から読み取る。

- インターネットはたくさんことができ便利です。
- インターネットやSNSによるいじめや犯罪のニュースを見たことがあります。
- インターネットの普及とインターネットを利用した犯罪が増えていることは関係がありそうです。

(2) 読み取ったことや調べたことをもとに、情報のよい点やよくない点、気になる点を話し合いまとめる。

- 情報化が進んで便利になりました。くらしや産業に役立っています。
- フェイクニュースなどの間違った情報もあります。個人情報の流出も怖いです。
- たくさんの情報から、どのようにして選べばいいのかな。

【教師】話し合ったことをもとに、情報との関わり方についてまとめましょう。

[提示資料の例]

- インターネットでできる主なこと
- インターネットの普及率の変化
- インターネットを使ったいじめを報じる新聞記事
- インターネットを利用した犯罪の件数の変化

[思考ツール(PMIシート)の活用]

情報について		
P よいところ	M よくないところ	I 気になるところ
くらしが便利になる	犯罪に使われるかもしれない	正しい情報を選ぶために必要なことは？
オンライン学習ができる	いじめのきっかけになるかもしれない	メディアリテラシー
生活や産業に役立つ	フェイクニュース	情報モラル
情報がなくて困る	まちがった情報もある	

話し合ったことをもとに、自分の考えを再構築する場を設定する

- 情報化が進んで便利になったけれど、気を付けなければならないことがたくさんある。メディアリテラシーを身に付けること、ルールやマナーを守ることを入れて「情報活用宣言」という形でまとめようかな。

# 算数科、数学科

## 重点事項

### 1 算数・数学のよさを実感させるための工夫

- 子どもが日常や数学の事象から見いだした疑問や予想を、課題設定や学習過程に生かすことで、解決する必要感を持って学習活動に取り組むことができるようにする。
- 子どもの興味・関心を高め、自ら学びに向かうことができるよう、課題の提示の仕方や、解決の見通しを持つ場面を工夫する。
- 身に付けた知識や技能を具体的な場面で活用したり、さらに発展させて新たな課題を解決したりすることで、学習したことの有用性を実感することができる活動の充実を図る。

### 2 思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実

- 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて、自分の考えをまとめたり、互いの考えを伝え合ったりする活動を積み重ねる。
- 多様な考えを価値付け、比較・検討する場の充実を図るとともに、問題解決の過程や結果を振り返り、統合的・発展的に考察する活動を工夫する。

### 3 基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得する指導の工夫

- 計算や作図など、技能の習熟を図る活動を単元の中で計画的に設定するとともに、学びの過程や学習状況を適切に見取り、個に応じた指導を工夫する。
- 全体で共有した考えが一人ひとりの理解と結びつくよう、学びの過程を振り返る活動の充実を図る。
- 新たな知識や技能と既習事項を関連付けて考える場面を設定したり、必要に応じて学び直しの機会を取り入れるなど、学習内容のつながりを生かした指導の充実を図る。

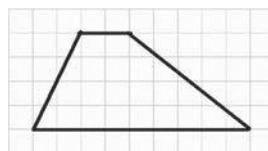
## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 学びの連続性を実感することができるよう、既習事項と関連付けて考えたり、統合的にとらえたりする場を設定することが大切です。

### 「四角形や三角形の面積」(小学校5年)

本時のねらい：台形の面積の求め方を考え、理解することができる。

学習課題：この台形の面積は、どのようにして求めればよいのだろうか。



【教師】 台形の面積の求め方について、これまで学習した図形の面積の求め方と比べて、どのようなことに気づきましたか。

既習事項と関連付けて考える場を設定する

- 図形を分けたり、動かしたり、合わせたりして面積の求め方が分かる形に変えるという考え方は、平行四辺形や三角形と同じだと思いました。
- 4年生の時にも図形を分けたり、ないところをあとみたりして面積を求めました。
- これも、面積の求め方が分かる形にするという考え方は同じです。
- みんなの考えを聞いて、台形の面積の求め方は、これまで学習した面積の考え方とつながっていることに気づきました。

【教師】 この考え方は、これからどのような問題や学習で使えそうですか。

考え方を統合的にとらえる場を設定する

- ひし形の面積を求めるときにも使えると思いました。
- この考え方をを使うと、公式のない複雑な図形でも、面積が分かる図形に変えて求められそうです。
- この考え方は今までいろいろな図形で使ってきたので、6年生の図形の学習でも使おうと思います。
- 求め方が分かる形にするという考え方は、もしかしたら図形だけではなく、他の学習にも使えると思います。

## 重点事項

- 1 自然の事物・現象についての知識や技能の習得につながる指導の充実
  - 課題解決を通して理解を深めることができるよう、子どもの問題意識に基づく課題を設定し、他の場面と関連付けて考える場を設定する。
  - 観察、実験の基本的な技能の習得につながるよう、目的に応じて器具を操作する過程や、結果を適切に記録する活動などを積み重ねる。
- 2 見通しを持って、科学的に探究する力を育成する指導の充実
  - 既習内容や生活経験をもとに、予想や仮説を立て、観察や実験を計画する場を設定する。
  - 観察や実験の計画や、結果から考察する場面において、比較、関連付け、条件制御などの考え方を働かせ、根拠を明らかにしながら話し合う活動を取り入れる。
  - 次の学習に見通しを持って取り組むことができるよう、実験が予想や仮説を確かめる上で適切であったか振り返る機会の充実を図る。
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、探究しようとする態度を養う指導の工夫
  - 子どもが理科の楽しさや有用性を実感し、学ぶ意欲を高めることができるよう、学んだことを自然の事物・現象や日常生活との関連でとらえ直す場面を設定する。
  - 進んで自然に関わろうとする態度を養うことができるよう、植物の栽培や気象観測などの直接体験を重視するとともに、必要に応じて画像や動画、シミュレーション等のICTを活用し、自然の変化や規則性を発見する場を設定する。

### 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 科学的に探究する力を高めることができるよう、既習事項と関連付けて課題解決の方法を選択したり、根拠を持って考察したりする場を設定することが大切です。

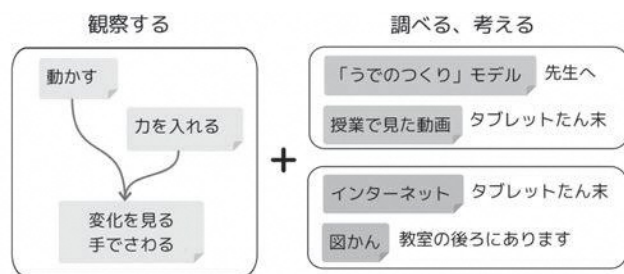
「動物のからだのつくりと運動」(小学校4年)

本時のねらい：観察を通して、人の体のいろいろな部分のつくりと動き方について考えることができる。

【教師】体の動く部分を1つ選び、どのようなつくりになっているか調べましょう。

既習事項と関連付けて課題解決の方法を選択できる場を設定する

- 力を入れたときの筋肉を観察すれば、どの筋肉を使っているか分かるかな。
- 膝のつくりは「うでのつくり」モデルを使うと説明できると思う。
- 手首が回る動きのしくみは難しそうだから、インターネットで調べたいな。



[調べ方についての板書の例]

【教師】分かったことや気付いたことをもとに、体の動く部分のつくりと動き方には、どのような関係があるのか考えましょう。

観察結果などから根拠を持って考察する場を設定する

- 膝のつくりは、「うでのつくり」モデルにあてはめると、腕とよく似ていることが分かりました。他の部分も説明できるか調べてみたいです。
- 手首の動きをインターネットで調べてみたら、筋肉の動きで骨の位置がねじれて手首が回ることが分かりました。骨や関節、筋肉の組合せで動きが変わるようです。
- 体の動く部分のつくりには骨や筋肉が関わっていることが共通点だと思います。空を飛ぶ鳥やくねくねした動きの蛇でも共通しているのか興味があります。

## 重点事項

### 1 自分のよさや可能性に気付くことができる指導の工夫

- 自分の成長について実感し、次の活動への意欲を高めることができるよう、見付けたことをICTを活用して写真等で記録させるとともに、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどを振り返り、表現する場面を設定する。
- 自分のよさや得意としていることに気付くことができるよう、互いのよさを伝え合う活動を設定する。
- 各単元における子どもの成長を見取り、「～ができるようになったね」「～博士になったね」などの具体的な言葉がけをし、認めたり励ましたりする機会の充実に努める。

### 2 幼児期の教育や中学年以降の学びとのつながりを意識した指導の工夫

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として、幼児期の遊びを通した学びと、小学校の学習のつながりについて把握するとともに、生活科を中心に各教科等との関連を図った単元を構成するなど、合科的・関連的な指導を工夫する。
- 生活科での学びが、中学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間等に発展的につながっていくよう、子どもの思いや願いを生かした主体的な活動を重視するとともに、人や社会と関わる楽しさ、自然の不思議さや面白さを実感できる活動を設定する。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 具体的な活動や体験から生まれた気付きをもとに、思いや願いを膨らませ、見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるよう、伝え合い交流する場や振り返り表現する場を工夫することが大切です。

「めざせ 野菜作り名人」(小学校2年)

本時のねらい：野菜の変化や成長の様子に着目し、世話の仕方を考えることができる。

<野菜の観察>

A：私のミニトマト、なんだか倒れそう。背が伸びて重くなってきたのかな。

B：僕のピーマンもだよ。大きくなって嬉しいけれど、折れたらかわいそう。

【教師】野菜さんの気持ちになって考えているね。この後どうしたらいいかな。

気付きへの称揚や価値付けをする

【教師】Aさん、Bさん、観察で気付いたことをみんなにもぜひ教えてください。

A：だんだん茎が長くなってきて、このままだと倒れてしまいそうです。

B：折れないように、何かで支えたいと思いました。

【教師】みんなも、心配なことや気付いたことはありませんか。

• 葉っぱがどれも小さいので、栄養が足りないのかなと思いました。

• 私の葉っぱは黄色くなっていました。元気なのか心配です。

【教師】葉っぱについて気付いた人がたくさんいますね。他にどのようなことに気付きましたか。

一人ひとりの気付きを全体に広げたり、互いの気付きを比較、関連付けしたりする場を設定する

• 小さな虫がたくさん付いていました。大丈夫なのかな。

• 育ち方や困っていることがみんな似ているね。

【教師】元気に育ってほしいのですね。そのために、どのようなことができそうですか。

• もっと日当たりのよいところに移動させてみよう。

• 茎が倒れないように支えるのはいいと思う。棒を使うといいかもしれない。

• 私のおじいちゃんは野菜を育てているから、葉っぱや虫のことを聞いてみるね。分かったことをみんなにも教えてあげたいな。

• 前みたいに本で調べるのもいいと思う。肥料のあげ方も分かるかもしれない。

【教師】やってみたいことがたくさん出てきましたね。今日も、気付いたことや感じたこと、これからやりたいことを、野菜さんにお手紙で伝えましょう。

思いや願いを表現する場を設定する

# 音楽科

## 重点事項

### 1 知覚したことと感受したことを関わらせ、音楽のよさを実感する指導の充実

- 音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう、音楽を形づくっている要素と曲想とを結び付けて考え、言葉で伝え合う活動を適切に位置付ける。
- 曲を聴いて感じ取った面白さや美しさと、音楽を形づくっている要素の働きとを関連付けてとらえることができるよう、聴く視点を示したり、つぶやきを取り上げて問い返したりするなどの手立てを講じる。
- 思いや意図を持って試行錯誤することにより、高まった音楽表現を全体で共有する場を設け、価値付けることで、音楽のよさを実感し、さらに表現を工夫しようとする意欲を高める。

### 2 音楽活動の基礎的な能力を培う指導の充実

- 表現を創意工夫するために必要な技能を習得できるよう、個々の思いや意図を伝え合う活動と音楽で試す活動を行き来させる学習過程を重視する。
- 表現領域の複数の分野を関連付けたり、表現領域と鑑賞領域を関連付けたりするなど、題材において取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にした指導を積み重ねる。

### 3 多様な音楽のよさを感じ取らせるための指導の充実

- 長唄や民謡など、郷土の音楽や諸外国の様々な音楽のよさを味わうことができるよう、それらの音楽の特徴をとらえることができる教材を選択するとともに、曲に合った発声や多様な楽器の特性を生かした演奏の仕方を指導する。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 旋律の特徴や曲想の変化などをとらえ、楽曲のよさや面白さを感じることができるよう、題材で取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にし、聴き取ったことと感じ取ったことを伝え合う活動を設定することが大切です。

『アルルの女』第1組曲から『かね』(小学校3年)

本時のねらい：音楽の特徴について気付いたことを伝え合うとともに、音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。

【教師】アの部分にはどのような特徴があったでしょう。

- 2つの旋律が重なって聞こえました。
- 「カンカンカン」と、3つの音が繰り返し鳴っていて、本当にかねの音が鳴っているみたいでした。

【教師】続きを聴いていきましょう。曲の始めから続けて流すので、感じが変わったなと思ったら手をあげてください。

- ここで曲の感じが変わりました。
- 私もここで曲の雰囲気が変わったと思います。

【教師】雰囲気が変わったイの部分、アの部分と比べてどのような感じがしますか。

- アの部分に比べて、落ち着いた感じがします。
- なんだか穏やかで優しい感じに聞こえます。

【教師】どうしてそのような感じがするのでしょうか。音の重なりや音の上がり下がりに注目して聴き、考えたことを伝え合ひましょう。

注目して聴くための視点を示し、考えたことを伝え合う場を設定する

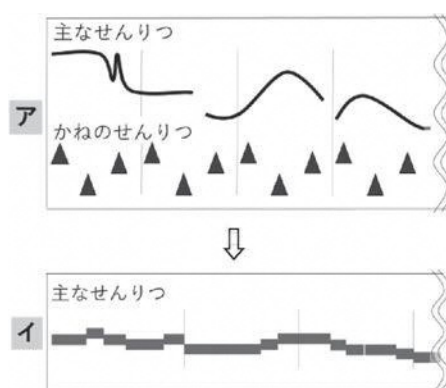
A：アの部分では聞こえていたかねの音が、イの部分ではなくなっているよ。

B：かねの音がなくて静かになったから、優しい雰囲気になったのかな。

C：音の上がり下がりも少なく、穏やかな感じがするね。

D：イの部分の終わりの方で、またかねの音が聞こえてきたね。

B：それは気付かなかった。もう一度聴いてみたいな。



## 重点事項

### 1 思いを膨らませ発想を広げる導入の工夫

- 「形から感じるイメージ」や「今の気持ちの色」など、題材について形や色などの視点から子どもの考えを引き出し、一人ひとりの気づきを共有する場を設定する。
- 作品制作の主題を明確にするために、思いを言葉で表したり、イメージマップを作成したりするなどの活動を取り入れる。

### 2 思考力・判断力・表現力等を高め、学びを深める学習過程の工夫

- 感性や想像力を働かせ、感じ取ったよさや美しさを自分の表現に生かすことができるよう、表現と鑑賞の活動を相互に関連させる場の充実を図る。
- 子どもが創造的に表現する活動に取り組むことができるよう、材料や用具に選択の幅を持たせたり、試行錯誤する場を設定したりする。

### 3 多様な表現や身近なもののよさ、美しさへの関心を高める指導の充実

- 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うために、生活や社会の中の形や色彩、制作した作品や美術作品等から感じ取ったり考えたことについて話し合ったりする機会を設ける。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 感性や想像力を働かせ、感じ取ったり考えたりしたことを表現に生かすことができるよう、制作した作品を互いに鑑賞し、表現のよさや面白さについて伝え合う場を設定することが大切です。

「光とかげから生まれる形」(小学校4年)

本時のねらい：材料の組合せや光を当ててできた影から、造形的なよさや面白さを見付け、活動を工夫することができる。

【教師】影を映してみても、気付いたことや面白いと思ったことはどのようなことですか。

気づきを共有し、造形的な視点でとらえる場を設定する

- ベットボトルとカップを組み合わせたら、ロケットみたいに見えました。
- 卵パックの向きを変えただけで、影が別の形になりました。
- 青いセロハンをライトにかざすと、影も青くなり、きれいでした。
- ゼリーのカップにオレンジのセロハンを付けて光を当てると、太陽みたいに見えました。
- 光の当て方を変えると、影の大きさが変わったり、ぼやけたり、くっきりしたりしました。

【教師】形や色、材料の組合せや光の当て方を工夫して、面白い影を見つけてみましょう。

- カップにセロハンを付けると、クラゲのように見えるよ。紐を付けてゆらゆらさせたら、海の中にいるみたいにならないかな。
- セロハンの色を変えると、夕日のように見えるね。



【教師】活動を通して、表現したことや工夫したことをグループ同士で伝え合ひましょう。

表現したことを伝え合ひ、自分なりの意味や価値に気付く場を設定する

- A：影がロケットに見えたから、紐を付けて飛ばしてみたよ。
- B：赤とオレンジのセロハンを付けたことで、エンジンから火が出て動いているように見えるね。
- C：私は、かごと割り箸を組み合わせて発射台をイメージしてみたよ。
- D：かごの網目が建物みたいに見えて面白いね。
- B：空が広がっているように見えるのは、水色の光を当てているからなんだね。
- A：ライトにかざすセロハンの色を変えると、見え方が変わるよ。

# 体育科、保健体育科

## 重点事項

### 1 運動意欲を高める学習過程の工夫

- 達成感を味わい、自信を持って運動に取り組むことができるよう、主運動につながる準備運動を取り入れたり、個や集団に応じて段階的に練習方法を選択させる場面を設定したりする。
- 運動技能の向上を実感し、次の学びへとつなげることができるよう、授業の終末に限らず学びを振り返り、修正する場面を効果的に設定する。

### 2 思考力・判断力・表現力を育成するための指導の充実

- 課題を解決したり活動の仕方を決めたりするための話し合い活動や、互いに助言したり教え合ったりする活動の際は、「よい動きを確認する」「ルールや練習方法、練習の場等を選ぶ」「作戦を立てる」など、活動の目的を明確にする。
- ICTを活用して自分や友達、チームの動きなどを撮影し、よりよい動きをイメージしたり、自他の動きを比較したりすることで課題をとらえさせる。

### 3 健康の保持増進と体力の向上に向けた取組の充実

- 健康の大切さを実感し、生涯にわたって自らの健康を適切に管理、改善する力を高めるために、健康な生活と自らの日常生活の様子を比較して考えたり、話し合ったりする場面を設定する。
- 運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活を実践することができるよう、養護教諭、栄養教諭、家庭等と連携した保健の学習を推進する。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 運動の楽しさや学びの成果を実感することができるよう、一人ひとりのめあてや課題をもとにした学習活動や、学びを振り返り、修正する場を設定することが大切です。

「ゴール型ゲーム（タグラグビー）」（小学校4年）

本時のねらい：チームで選んだ作戦を成功させるためのよりよい動き方について考え、友達と伝え合うことができる。

【教師】 前回の振り返りを踏まえ、作戦を成功させるために、役割を確認しながら、動き方について話し合しましょう。

個の役割に応じためあてを立てる場面を設定する

- A：おとり役になって、コート右側を走り抜けていこうかな。  
B：私は、反対にコート左側へ走るおとり役になるよ。  
C：ボールを持って、コートの真ん中を走り抜けて得点をねらうね。

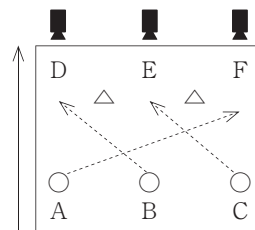
【教師】 それでは、3対2のゲームを始めます。サポート役の人は、守る側の立場で気付いたことを話しながら、友達（A・B・C）の動きを動画で撮影してください。

- D：全力で走っているから、Aさんの動きにつられてしまっているね。  
E：その体の向きだとBさんがボールを持っていないことが分かっちゃうね。  
F：Cさんは、動き出しがおとり役の2人より早くなるといいね。

【教師】 タイミングや動きの違いが見えてきましたね。どうすれば相手が守りにくくなりそうですか。動画や友達からのアドバイスも参考にしながら、考えてみましょう。

一人ひとりの学習状況をもとに課題解決に向かう視点を示し、修正を促す

- A：上手く相手を引きつけられるようになってきたので、今度は、ジグザグにステップを踏んで、相手が守りにくくなる動きを取り入れてみたいです。  
B：ボールを持っている人を分かりづらくするためには、どのような方法があるのかについて友達と相談して、次のゲームで試してみたいです。  
C：おとり役の2人と動きやタイミングを合わせると、守る相手が迷うと思います。おとり役の人と交差する時に手渡しパスをするなど、連携プレーにも挑戦してみたいです。



○：攻撃 △：守備  
[おとり作戦]

# 家庭科、技術・家庭科

## 重点事項

### 1 確かな知識・技能の習得を図る指導の工夫

- 実践的・体験的な学習を通して、「なぜそうなるのか」「どうしてそうするのか」などの疑問を大切に授業を展開する。
- 調理、製作等の実習では、ICTを活用し、写真や動画で道具の持ち方や安全な使い方、操作の方法や姿勢などについて確認し合う場を設定する。

### 2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

- 課題解決に必要な力を育成することができるよう、題材構成においては、「生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定する」「解決方法を検討する」「課題解決に向けた実践を行う」「実践を評価・改善する」「よりよい生活や社会の実現に向けて考察したことを表現する」などの活動を適切に位置付ける。
- ICTを活用して、子どもの思考の過程や結果を可視化することや、「比較する」「関連付ける」「分類する」などの活動の時間を保障することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。

### 3 学ぶ意欲を高める指導の工夫

- 日常生活と深く関わる題材を設定し、自らの生活や身近な技術への関心を高めることを通して、課題を積極的に解決しようとする態度をはぐくむ。
- 学習したことがよりよい生活に結び付いていることを実感することができるよう、習得した知識や技能を活用した実践活動を行い、考察したことを伝え合う場を指導計画に位置付ける。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 題材を通して主体的に課題の解決に取り組むことができるよう、自分の生活への気付きや、生活をよりよくしたいという思いを課題設定につなげる場を工夫することが大切です。

「衣服の手入れで快適に」(小学校6年)

本時のねらい：日常着の手入れについてよさや問題を見だし、課題を設定することができる。

【教師】なぜ衣服の手入れをするのでしょうか。

- 汚れたままだと不衛生だから。
- 汗を吸った服をそのまま着るのは気持ちが悪いから。
- きれいな服を着ると気持ちがよいし、見た目もいいから。

【教師】衣服の手入れについて家族にインタビューしたことを伝え合ひましょう。

自分の生活に目を向け、気付きを促す活動を設定する

- だろや食べこぼしの汚れがあるときは、その部分を手洗いしてから洗濯機で洗っていると言っていました。
- 洗濯の途中でボタンが取れてしまったことがあったので、それからはボタンが取れそうになっていないか確かめてから洗濯しているそうです。
- 環境に配慮して、洗剤を使いすぎないように気を付けているそうです。
- 表示を見て素材に合った手入れをすると、服が長持ちすると言っていました。

【教師】インタビューや友達の話から、どのようなことに気付きましたか。また、どのようなことをやってみたいと思いましたか。

「やってみたい」「できるようになりたい」という思いを引き出し、課題設定につなげる

- 家族は汚れに合わせた洗い方を工夫してくれていることが分かりました。
- 友達の話を聞いて、手入れをすると服が長持ちして、資源をむだにしないことにつながると気付きました。
- 汚れをしっかりと落とす方法を調べて、服を大切にしたいです。
- 服に付いている表示の意味や環境に配慮した洗い方について知りたいです。

# 外国語（英語）科

## 重点事項

### 1 コミュニケーション能力を高める指導の充実

- 語彙や表現、文法事項等と実際のコミュニケーションの場面とを関連付け、子どもが必要や有用性を実感しながら、身に付けた知識や技能を活用することができる言語活動を設定する。
- 英語による言語活動を授業の中心に据え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、相手に配慮しながら自分の考えや気持ちを伝え合う活動を継続的に設定する。

### 2 思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫

- 子どもの興味・関心を踏まえた課題を設定し、情報を整理して考えをまとめ、英語で表現したり伝え合うなど、豊かな表現力を身に付けさせる機会の充実を図る。
- A L Tへの質問やI C T等を活用して調べる活動を通して、日本や世界の文化に対する関心を高め、自分の考えを英語で表現できるような機会を設ける。

### 3 学びの連続性を意識した指導の充実

- 学年や校種間での学びの連続性を意識し、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを即興的に表現する活動を段階的に設定する。
- 年間指導計画や単元計画、C A N - D O形式での学習到達目標リスト等を活用し、到達すべき姿や達成状況を子どもと共有しながら授業を進める。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 気付きや疑問をもとに考えを広げ、日本や世界の文化に対する理解を深めることができるよう、日常生活に関する身近で簡単な事柄について考えを共有し、整理する場を設定することが大切です。

「Unit5 Let's go to the zoo.」(小学校5年)

本時のねらい：写真や映像を手がかりにして、日本や世界の標識の共通点や相違点について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。

【教師】 Did you come to school by train today?

【ALT】 Yes, I did. Look at this picture. What color do you see?

A : Red!

B : Yellow!

C : Blue!

【ALT】 Wow! You can see many colors. Great! Next, look at the textbook. We can see some signs. Let's watch the video.

(映像を見終わったら)

【教師】 Same or different? Please talk with your friends.

視点を与え、多様な考えにふれる場を設定する

D : Same! トイレの絵が同じだ。

E : 飛行機の絵があるから、駅の標識ではないよね。もう1つの標識のイラストは、海に見えるよ。何の標識だろう。

F : "TSUNAMI" と書いてあるね。「津波」は、英語でも「津波」なのかな。

【ALT】 Interesting! Yes, we can see the same signs.

Oh, this is a plane. Yes, this is not the station.

Good question about TSUNAMI. Yes, we can say TSUNAMI in English, too!

Can you see this sign in Japan?

気付きや疑問を取り上げ、整理しながら学びを広げる場を設定する

E : No! 見たことはありません。

F : 私は、どこかで似ている標識を見たことがあるような気がします。

G : 英語ではない文字もあります。何て書いているのだろう。

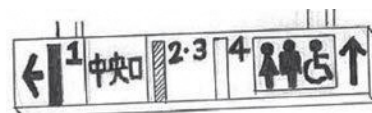
【ALT】 Oh! Yes, the letters are different. I want to know, too!

【教師】 Your ideas are great! もっと知りたいと思ったことはどんなことですか。

E : 「津波」と書いてある標識は、日本にもあるのか知りたいです。

F : 私は、「EVACUATION ROUTE」の意味を調べてみたいです。

G : 秋田でも英語以外に韓国語で書かれている標識があるのを見たことがありますが、この言葉は見たことがないので、どこの国の言葉なのか知りたいです。



[駅構内の標識の写真]

# 道徳科

## 重点事項

### 1 多面的・多角的に考える指導の工夫

- 子どもの実態や育てたい姿をもとに、その内容項目について最も考えさせたいことを明確にしたねらいを設定する。
- 子どもが様々な視点から語り合い、広い視野から道徳的価値について考えることができるよう、発問や問い返しを工夫する。
- 動作化や役割演技などの表現活動、問題解決的な学習を取り入れるなど、子どもが自らの考えをもとに、互いに考えを交流し深めていくことができるような授業の展開を工夫する。

### 2 自己の生き方について考えを深める指導の工夫

- 子どもが問題意識を持ち、道徳的価値の理解をもとに自己を見つめる動機付けを図る導入の工夫をする。
- 子どもの思考を深める手がかりとなるような板書の工夫をしたり、子どもが自己の生き方についての思いや願いを持つことができるような終末の工夫をしたりする。

## 子どもの考えを深めるために

- 道徳的価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることができるよう、教材の登場人物に自分を重ねたり、登場人物の心情の変化や言動を客観的に見たりして話し合う場を設定することが大切です。
- 自己を見つめ、よりよい生き方について考えを深めることができるよう、自分との関わりで考えるための手立てを工夫することが大切です。

主題名：度をこすことなく（A節度、節制）

教材名：「黄金の魚」（小学校3年）

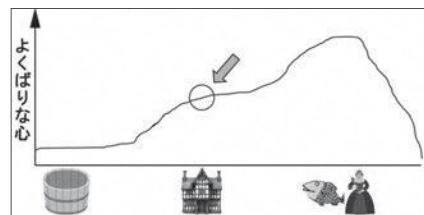
本時のねらい：登場人物の心情の変化や言動について話し合うことを通して、度をこすことなく、節度ある生活をしようとする道徳的心情を育てる。

【教師】 やり過ぎてしまったなと思った経験はありますか。

導入の場面で、日常生活の問題とつなげる場を設定する

- ゲームをしていて時間があっという間に経ち、眠くなったので宿題をせずに寝てしまいました。
- 分かってはいるけれど、お菓子を食べ過ぎて夕食を食べられませんでした。
- まだ使えるのに、文房具を買いすぎてしまいました。

[心情グラフの活用例]



【教師】 おばあさんの「欲張りな心」について、自分の心情グラフを見せ合いながら話し合みましょう。

多面的・多角的に考えさせるために、心情グラフを活用した話し合いの場を設定する

- やり過ぎてしまったけれど、最後には反省して欲張りな心は小さくなっていったのだと思います。
- 最初は新しいおけをもらえればよいと思っていただけ、次の願いをしたら願いがかなったから、どんどん欲が出たのだと思います。新しいおけをもらったところでやめておけばよかったのに。
- 私は、グラフに印を付けた（お金持ちになって、りっぱなやしきがたった）ところでやめればよかったと思います。願い事を二つも叶えてもらったのだから、それで十分です。
- おばあさんの気持ちも分かります。よくないなとは分かっているのだけれど、やり過ぎてしまうことは、自分たちにもたくさんあります。ちょうどよいところでなかなかやめられないです。

【教師】 やり過ぎずに生活するために大切にしたいことはどのようなことですか。

よりよい生き方について考えを深めさせる

- やり過ぎるとどうなるのか、その後のことを考えるようにしたいと思います。
- 難しいことだけれど、自分で「ここまで」ということを決めて、強い気持ちを持ちたいです。自分でルールを決めてやり過ぎないようにしようと思います。

# 特別活動

## 重点事項

### 1 話し合い活動の充実

- 学級や学校のよりよい生活づくりにつながる集団決定ができるよう、「相手の意見を取り入れ、折り合う」「反対するだけでなく、改善策を提案する」など、相手の立場も踏まえた建設的な話し合い活動を行うとともに、互いの意見のよさを価値付けながら話し合いを深める。
- 短冊やホワイトボード等を活用して、一人ひとりから出された意見を分類・整理するなど、合意形成までの流れを可視化し、子どもが話し合いの見通しを持ちながら意見を整理できるよう構造化する。
- 積極的に社会に参画する意識をはぐくむために、子どもが話し合い活動の課題を自分事としてとらえ、合意形成や意思決定したことを実践する機会を設定する。

### 2 体験活動の充実

- よりよい生活や望ましい人間関係を築く力をはぐくむことができるよう、学年・学級における集団活動や異年齢集団活動など、様々な人との関わりを通して体験を共有したり、多様な価値観にふれたりする機会の充実を図る。
- 事前に活動のねらいを十分に理解させるとともに、自他のよさに気づき、活動の成果を今後の生活に生かすことができるよう、個人の変容や集団の成長に着目した記述や発表を取り上げ、価値付ける。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 一人ひとりの意思決定につなげることができるよう、話し合い活動を通して考えを広げ、それぞれに合った実践内容を具体的に考える場を設定することが大切です。

「気もちのよいあいさつ」(小学校4年)

本時のねらい：あいさつの大切さに気づき、自ら進んであいさつしようとしたり、心を込めてあいさつしようとしたりすることができるようにする。

【教師】 事前に行った学級あいさつアンケートの結果から、どのようなことを感じましたか。

- 登校した時などに、多くの人が廊下ですれ違った先生たちにきちんとあいさつしていると思います。
- 先生にはあいさつするけれど、友達にはあまりあいさつしていないという人も多かったです。
- 友達同士でも、仲のよい決まった人だけにあいさつをしているかもしれません。
- 確かに、私もいつも同じ人にしかあいさつしていないな。声も小さかったと思います。

あいさつアンケート  
朝や帰りのあいさつをがんばっている。  
先生にはあいさつしているけれど、友達にはあまりしていない。  
大きな声でできない。  
登校と中、地域の人にはあいさつされたけれど返せなかった。

【教師】 まだできていないところもありそうですね。どのようにすればもっとよくなるか、気持ちのよいあいさつの場面を思い出しながら、話し合みましょう。

意見交流する場を設定し、考えを広げることができるようにする

- A：朝、あいさつ運動をしている6年生にあいさつしてもらうと、嬉しくなるよ。  
B：遠くからでも、大きな声であいさつしてくれるからかな。  
C：自分に向けてあいさつしてくれているのが分かる感じがする。  
D：しっかり顔を見てあいさつしてくれてるからかな。  
B：笑顔であいさつしてくれるのも嬉しいね。  
A：私たちもみんなですごいあいさつができれば、もっと気持ちよく過ごせるのかもしれないね。

【教師】 気持ちのよいあいさつにするための工夫がたくさん出ましたね。自分ではこれからどのようなことを心がけてあいさつをするか、考えましょう。

話し合いで広げた視点をもとに、個人の意思決定につなげる

- 廊下や教室で会う友達みんなに、大きな声であいさつするようにします。
- きちんと相手の目を見て、笑顔であいさつするようにしたいです。
- 私は学校でのあいさつは元気にできていると思います。だから、今度は地域の人にも恥ずかしくなくあいさつできるようになりたいです。

# 総合的な学習の時間

## 重点事項

### 1 探究的な学習活動の充実

- 体験から生じた疑問や体験活動前後の認識の違いなどから探究課題を設定させることで、課題意識を持ち、主体的に学習を進めることができるようにする。
- 「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程において、ICTや考えるための技法の効果的な活用を図る。

### 2 協働的に取り組む学習活動の充実

- 他者と考えや意見を交流する機会を設定し、自分の考えをとらえ直して再構築したり、新たな疑問や課題を持ったりすることができるようにする。
- 他者と協働して、複数の情報を比較・分類しながら必要な情報を選択したり、関係性を読み取りながら整理・分析したりするなど、新たな課題を見いだすことができる活動を学習過程に取り入れる。

### 3 地域や実社会とのつながりを深める学習活動の充実

- 学校や地域の特色を生かし、地域をフィールドにした調査活動や体験活動の充実を図るとともに、地域の方や専門的な知識を有する方などに関わる場面を設定する。
- 自分たちの身近な生活と社会の出来事を結び付けるなど、広い視野から物事をとらえ、考える学習活動を取り入れる。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 様々な人との出会いや体験活動から得た気付きや疑問をもとに、自分が取り組みたい課題を見いだすことができるよう、友達と意見を交流する機会を設定することが大切です。

「共に生きる」(小学校4年)

本時のねらい：福祉に関する交流や体験活動を通して生まれた気付きや疑問をもとに、自分が取り組むべき課題を見いだすことができる。

【教師】福祉に関するこれまでの交流や体験活動を通して、どんなことを感じましたか。

- 車いすでボールを捕ることは難しかったけれど、思ったよりも自由に動けると思いました。
- 段差があっても、友達に乗った車いすを簡単に動かすことができました。力を入れなくても動かせる秘密があるのではないかと感じました。
- 盲導犬が〇〇さんをステージまで連れて行く様子を見て、言葉を理解しているように見えたので、特別な訓練をしているのではないかと思いました。

【教師】自分が調べてみたいことを書いた付箋を見せながら、共通点や気になることについて話し合ひましょう。

交流や体験と関連させながら、意見交流する場を設定する。

A：車いすの使い方や特徴は、「工夫」が共通のテーマになりそうだね。

B：使う人のことを考えた工夫を調べてみたいな。

C：昔と今の工夫を比べてみると、使い方にも違いがあるかもしれないね。

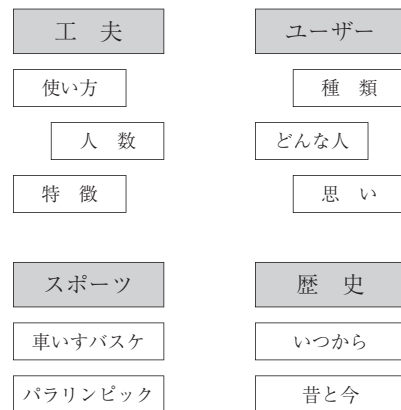
D：競技用の車いすは、どんなところが違うのだろう。

A：安全に使うことができるよう、スポーツの種類によっても違うところがあるかもしれないね。

【教師】友達の考えを聞いて、さらに知りたいと思ったことをあげましょう。

- 生活で使う車いすとスポーツ用の車いすでは、どのような違いがあるのかについて知りたいです。
- 最新の車いすから昔の車いすへタイムスリップして、車いすの歴史を調べてみたいんです。
- 使っている人は、何か困っていることがないかについても知りたくなりました。

### <車いすグループ>



[付箋を活用した分類の例]

# 小学校外国語（英語）活動

## 重点事項

### 1 コミュニケーション能力を育成する単元計画の工夫

- 単元終末の子どもの姿を明確にし、単元を中心となる言語活動を設定した上で、各単位時間の活動計画を作成する。
- 単元全体を通して、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を繰り返し設定する。
- コミュニケーションを行う相手や目的、場面、状況等を明確にし、英語で尋ねたり答えたりする必然性のある場面を設定する。
- 言葉や文化の面白さを体験的に身に付けることができるよう、ネイティブスピーカーとのチームティーチングを効果的に活用したり、ICTを用いて様々な言語や文化にふれたりする機会を設ける。

### 2 英語で会話しようとする意欲を高める指導の工夫

- 教師自身がモデルとなり、子どもと共に学ぶ姿勢を見せたり、ALT等と思いが通じ合う楽しさを示すなど、子どもが「自分もやってみたい」と感じられるような場を設定する。
- 「英語だけれど分かった」という実感に結び付けられるよう、あいさつや簡単な指示、称揚などを英語で行ったり、イラストやジェスチャー等の視覚的な情報を取り入れたりする。

## 子どもの「もっと学びたい」を広げるために

- 全体で共有した成果が一人ひとりの理解や表現の広がりにつながるよう、子どもの考えを価値付けたり、問い返しの発問を工夫したりすることが大切です。

「Unit4 I like blue.」（小学校3年）

本時のねらい：好きなものやことについてたずねたり答えたりする。

<好きなものやことについてペアでやり取りを行う>

例：Do you like green? Yes, I do. I like green.  
Do you like pink? No, I don't. I don't like pink.

【教師】好きなものやことについて、たずねたり答えたりすることができていますね。では、ここでALTの〇〇先生とBさんのやり取りを見てみましょう。

A L T : Do you like soccer?

B : Yes, I do. I like soccer. え〜っと… I like… Messi!

A L T : Oh, Messi! Nice.

B : My turn. Do you like basketball?

A L T : No, I don't, but I like baseball.

B : Me,too! I like Los Angeles Dodgers.

【教師】Thank you. Good job! みなさん、どんなことを感じましたか。

- Bさんがメッシ、ドジャースと詳しく話していて、おもしろいと思いました。
- No, I don't.と言った後、「でも野球が好き。」と付け足したら、会話がさらに続きました。難しそっうだけれど、まねしてみたいと思いました。
- Oh,Messi!と同じ言葉を繰り返したり、Me,too.と反応したりしていて、会話がつながっているように聞こえました。

【教師】相手の言葉を繰り返したり、一言感想を伝えたりするだけで、自然な会話になりますね。

No など否定の形で終わらないことで、より気持ちのよい会話になるかもしれません。会話を続ける上で、大切なことはどんなことだと思いますか。

子どもの気付きを価値付け、考えを深める発問を工夫する

- まずは相手の言葉をよく聞くことだと思います。
- 自分がしっかり話すことばかり気にしていたけれど、友達の話している内容を理解して、反応すると言葉のキャッチボールになると思います。

【教師】なるほど。「自分が理解できたよ。」という気持ちを言葉やジェスチャーで伝えることも大切なのですね。では、もう一度ペアを変えながらやってみましょう。